

日 時	令和4年8月24日(水) 10:30~10:40 第8回経営会議
出席者	市長、平原副市長、城副市長、伊地知副市長、大久保副市長、 政策局長、総務局長、財政局長、政策局政策調整担当理事
欠席者	なし
議 題	「第9回アフリカ開発会議(TICAD9)の誘致」について【国際局】
議 事 要 旨	<p>【論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8月27・28日にチュニジア・チュニスで開催される第8回アフリカ開発会議(TICAD8)で、2025年予定の第9回会議の「日本開催」が決定される見込みであることを踏まえて、第9回会議の「横浜開催」を誘致する。 <p>【説明要旨】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 アフリカ開発会議とは <ul style="list-style-type: none"> ・ 1993年に日本が立ち上げたアフリカ開発に関する首脳級の国際会議 ・ 横浜開催は過去3回(2008年第4回、2013年第5回、2019年第7回) ・ 2019年第7回には、10,000人以上、42名の首脳級含むアフリカ53か国、開発パートナー52か国、108国際機関等が参加 2 アフリカ開発会議を開催する目的・効果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 経済波及効果の高い国際会議の誘致(2019年第7回の経済波及効果は約27億6,900万円、パブリシティ効果は約155億円) ・ グローバルMICE都市としての競争力強化 ・ 市内企業のビジネス機会の創出 ・ TICAD開催を契機として開始した取組の推進 3 誘致に向けた動き(予定) <ul style="list-style-type: none"> ・ 4年8月 日本開催決定後、速やかに記者会見等により対外的に表明 ・ 4年9月~ 誘致準備活動本格化 ・ 4年内 「第9回アフリカ開発会議横浜誘致推進協議会」設立 <p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ウクライナが大変な状況にある中、アフリカへの注目度も高い。横浜は誘致をめざすべき。 <p>【結論】</p> <p><u>局案について了承。</u></p>